2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
環境生態系分野	国際保健・生態疫学研究	依田 健志

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

低・中所得国を含む多様な国際保健の現場課題（感染症・非感染性疾患、母子保健、栄養、環境・職業、災害・人道支援など）を対象に、疫学的アプローチで「妥当で再現可能な研究」を設計・実施・解析し、考察し、国際的に通用する研究成果として発信（学会・論文）できる能力を獲得することを目的とする。

授業到達目標

(1)研究課題を国際保健の文脈で位置づけ、研究疑問・仮説・主要評価項目を明確化できる
(2)国際保健で頻用されるデータ（人口保健調査、行政統計、施設データ、レジストリ等）について、データ品質・欠測・測定誤差・クラスター構造を踏まえた解析上の留意点を説明できる
(3)論文（疫学研究・国際保健研究）を構造的に読み解き、研究の限界と含意を簡潔に説明できる
(4)倫理（IRB/現地審査、同意、データ保護、共同研究）と現場実装性を踏まえ、研究を遂行できる
(5)結果を解釈し、限界と含意（政策・実装・公平性）を論理的に議論できる

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	火	17:00 - 18:00	依田 健志	文献に基づいた研究内容の確認

評価方法

（１） １・２年次に中間発表へ出席する。
（２） ２年次に中間発表で発表する。
（３）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（４） １週間ごとに実験・調査研究内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（１） １週間ごとの実験・調査研究内容報告に対し，指導・助言を行う。
（２）中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9784764405417, 実践グローバルヘルス ： 現場における実践力向上をめざして, 日本国際保健医療学会編 ； 神馬征峰編者代表, 杏林書院, 2022
ISBN-9783031338533, Global Health Essentials, Mario C. B. Raviglione, Simone Villa, Springer Nature, 2023

参考書

ISBN-9780323877756, Gordis epidemiology, David Celentano, Moyses Szklo, Youssef M.K. Farag, Elsevier, 2024
ISBN-9784895928977, グローバルヘルス ： 世界の健康と対処戦略の最新動向, リチャード スコルニク著, メディカル･サイエンス・インターナショナル, 2017

準備学習（予習・復習等）

（１）実験計画を周到に準備し，予習を行う。
（２）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（３）実験終了後，データの記録と反省点を記録し，提出する。
（実験計画の作成におよそ１時間，データ整理と次回の実験計画におよそ３時間必要）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（１）課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論を獲得している。
（２）卓越した研究成果をあげ，疾病予防に関する深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

大学院生として，疑問点を自力で解決できる能力の獲得に取り組んでください。
今回の実験結果が臨床応用可能となることが望まれます。